

令和3年度 若葉区区民対話会概要

「高齢者と地域社会の関わりに関する意見交換」

1 区長挨拶

2 若葉区老人クラブ連合会より会の現況と課題の説明

3 意見交換

- ・各クラブ、会員数の減少に悩んでいるが、将来的に役員を任せられるような世代の加入はなかなか進まない。あまり高齢の方だと入会を断るようなケースもある。
⇒会員数を伸ばすことが喫緊の課題と考えているのならば、まずは年齢を問わず積極的に受け入れてみてはいかがか。その中で特に元気な方には役を担ってもらって、会を存続、発展させていく雰囲気盛り上げるのが重要では。
- ・過去、市老連や区老連としても会員増に取り組んできたが、中々実を結んでいない現状がある。
⇒町内自治会連絡協議会など、他の団体の会議などでアピールしてみてもは。区としてもそういった機会を持てるよう支援する。その際、相手にクラブの魅力や楽しさ、加入するメリットを感じてもらうために、資料の見せ方なども工夫していくことが必要。
- ・60歳以上の民生委員は、ほとんどクラブに加入していない現状がある。民生委員にとっても、ネットワークを作れるし自分の活動にも役立つので、加入が進むよう方法を模索している。
⇒民生委員に積極的に加入してもらうのは良いと思う。民生委員児童委員協議会の会議などでアピールできるようなお願いをしていきたい。
- ・会長の負担が大きい。補助金の申請などの事務作業負担、また電話代などの経済的負担もある。クラブの中には役員報酬を出して対応というところもある。
⇒会長1人に負担が集中しないよう、副会長を選任して複数人でうまく回せるよう提

案をしてみてはどうか。報酬についても、通信費として支給するなど会計処理を整理しておくとういと思う。

- 補助金申請の書類でクラブの年齢別の名簿などを毎年用意する必要があるが、この負担が大きい。面倒に感じて補助金の申請自体をしないこともある。
⇒申請手続きをもっと簡素化できないか、本課を含め確認、検討したい。
- 交通の便が悪く、高齢者は買い物すら大変な地域もある。以前、桜木地区でグリーンスローモビリティを走らせていることがあった。そういった買い物支援があると助かる。
⇒交通の便はどこにいても出てくる問題。グリーンスローモビリティが役立つようであれば、活用できる地域を増やしていけるよう担当課に伝える。
- 都賀コミュニティセンター併設の「いきいきセンター」に事務所を設置しており、活動拠点があるのは心強い。
⇒コミュニティセンターでは、ウォーキングなどの健康に関する自主事業を積極的に実施しているので、老人クラブと共同で実施していけるようなものがあれば相談させていただきたい。

以上